



学校だより

令和6年 10月 1日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「美しいはずの四季の移り変わりの齒車が、かみ合わないような9月でした」

9月2日発行の学校だよりで、8月の石川県立いしかわ特別支援学校での全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究会「石川大会」に参加、能登半島地震の災害復興を自分事として考えなければならないと記したばかりですが、9月20日から約3日間にわたって日本海側を中心に降り続いた記録的な豪雨により、石川県能登地方はまたも甚大な被害に見舞われています。いしかわ特別支援学校の校長先生から、日本海側に面した石川県内肢体不自由特別支援学校では、一部床上浸水し、断水や停電、給食施設の被害もあるとうかがいました。しかし、学校は、9月24日(月)から開かれていて給食提供ができない状況においても、午前中のみの日課で授業を行っているとのことでした。子供たちの学びを止めずに学校を開け、授業を行っている教職員の皆様にエールを送ります。私はテレビでの映像を見るしか様子を知るすべがない状況なのですが、被災地の皆様には、どうか強い絆をもち、この難局に向かっていってほしいと願うばかりです。この豪雨でお亡くなりになった方へお悔やみ申し上げますとともに、被災した方々へお見舞いを申し上げます。

【第2回学校公開…9月13日(金)】

本校の児童・生徒の通学区域である、6市1町の教育委員会、障害福祉課等の関係機関、幼小中学校、放課後等デイサービス、都立学校、東京都関係機関等、幅広く参加対象とした第2回学校公開を9月13日(金)に行い、50名以上の方に御参加いただきました。学校概要等をお話しさせていただいた後、校内は全て自由に参観いただきました。もちろん授業参観ガイドをもとに児童・生徒の安全・安心を確保した上で、全ての学部・学年で授業参観をしていただきました。現時点では本校舎改築のための仮設校舎ですので、不便なことや不十分だと感じられたこともあったかもしれません。しかし、開かれた学校として仮設校舎での学校生活をありのまま御覧いただき、都立学校としてのあるべき姿への御意見を我々教職員がしっかりと受け止め、改善できるところは改善していきたいと考えます。

【東京都「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」ポニーの乗馬、ふれあい体験…9月24日(火)】



都立村山特別支援学校にポニーがやってきました。東京都の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の「動物にも気持ちがあることを知り友達になってみよう」というテーマで、公益財団法人ハーモニーセンターからポニーが3頭やってきました。まだまだ日差しの強い残暑が続き、午後にな

ると急に雨が降り出す天候が続く中、9月24日(火)は、朝から穏やかな日差しで、バスターミナルの日陰にいると涼しく、日向にいると日差しもあり、我々にとっても、ポニーにとっても過ごしやすい1日でした。子供たちが差し出す人参スティックを、ポニーが上手にはおぼる様子を写真に撮ったり、ポニーの背中に乗って駐車場を一周したり、全ての学部、学年グループの児童・生徒がポニーとのふれあい

体験を楽しみました。「見ているこちらが癒される」そんな時間となりました。御参観いただきました保護者の皆様も、同じように温かく穏やかな気持ちになっていただけたのではないかと思います。写真を撮りながら、皆が笑顔になりました。今年はすっきりと晴れたさわやかな秋晴れの季節はやって来るのか、突然に冬のように寒くなってしまうのか。子供たちが夏から秋への季節の変化を楽しめる10月を迎えられればよいなと改めて思った1日でした。

【9月30日(月) 水泳指導が無事、終わりました】

仮設校舎での学校生活期間は、大型プールでの指導が十分できないため、水泳学習におきましては、4月当初から東京都多摩障害者スポーツセンターの施設内プールの利用による指導、校内中庭にプール設置による指導と分けての指導をシミュレーションして準備対応いたしました。保護者の皆様には御理解、御協力いただきありがとうございました。着替えやバスでの移動時間等、課題点はありますが、事故けが等なく、無事9月30日(月)をもちまして今年度の水泳指導を終了いたしました。次年度以降の計画につきましては、さらに移動時間、指導内容の検討を重ねてまいります。御協力のほど、よろしくお願いいたします。

【PTAによる読書活動の参画～PTA読み聞かせ隊「むらやまブックローバー」始動～】



9月26日(木)お昼休みに、「PTAによる読み聞かせ会」が始まりました。PTA運営委員会で校長から「一緒に読み聞かせをしていただける保護者の方はいらっしゃいませんか？」の問い掛けから

始まった企画です。実は、今年度の学校経営計画の【重点目標1】としていた案件なのですが、その問い掛けに、どんな感じになるのかわからないけれど「読んでみたい」と集まってくださった記念すべき第一回が上記の写真です。

保護者の方に「何も準備はいらない。いつも子供たちに語り掛けているその素晴らしい声が、子供たちの心をくすぐり、安心させ、集中させるのです。」というお願いに賛同してくださり本当にありがとうございました。

大型絵本、絵が多い絵本、同じフレーズの言葉が多い絵本、仕掛け絵本、様々な絵本を手にとっていただき台に立て掛けたり、上に掲げたりと読み聞かせに挑戦していただきました。子供たちの前でのびやかな声で語り掛けていただきました。私は「給食を早く食べ終わった子供たちがお昼休みに図書コーナーに集まればよい」と思っていたのですが、思いのほかたくさんの子供たちが集まってくれて、真剣な表情で聞き耳を立て、見つめていたため、読み聞かせをしてくださったPTAの皆様も緊張した面持ちで対応くださり、「こんなに見つめられたのは初めて」「楽しかった」とおっしゃっていただきました。読み聞かせは、静かにじっくりと繰り返し行うことで、子供たちの内面に「言葉を」落とし込んでいきたいという気持ちがあります。イベントとして調整ありきで取り組むのではなく、日常としての読み聞かせの手法や本の選定を教職員と保護者の皆様とが共同して学び、学校卒業後にも続いていく学びの形態として実践していければという思いです。

そうした思いが通じて、さっそくPTA読み聞かせ隊ボランティアの名称が決まりました。

Bookに校章のCloverを合わせて「むらやまブックローバー」となったそうです。保護者の皆様、誘っておいてですけども、焦って進めなくて大丈夫です。細く長く続けていきたいので、お昼休み少しお時間が取れる保護者の方がいらっしゃいましたら、一緒に読み聞かせをやってみませんか。破れたり汚れたりした本の修理や、本が傷まないようにするためのフィルム(ブッカー)の掛け方なども一緒に学びませんか。デイジー図書をICTの一人一台端末に入れて持ち帰って読めるように、また、その使い方の説明を文化祭の保護者の来校時に行えるように、説明の仕方を含め現在、調整を進めています。楽しみにお待ちいただければと思います。

新校舎の図書室は学校の真ん中に位置付けられ設計されています。大きな図書室を皆で作りに上げていきませんか。